

千代田中通信

【目指す生徒像】

- 自ら考えて行動できる生徒
- 夢や希望をもち、粘り強く努力する生徒
- 千代田のなかま(学級・地域)を大切にする生徒

三寒四温と言われる時期をくぐり抜け、いよいよ春本番を迎える季節となりました。本年度も感染対策等により生徒の学校生活に制約のある中で、保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

学校では、令和3年度のまとめの時期となりました。しっかりと締めくくりができるよう支援していきま。3学期に行われました学校の取組や生徒の様子を「学校だより」としてお知らせします。

～響き合う合唱～千代田のなかま5か条の定着へ！ 3年生を送る会 2月22日(火)

2022年2月22日。2が6つも並ぶ注目の日に、三送会（3年生を送る会）を行いました。まん延防止等重点措置の期間中でしたが、感染対策をしっかりと行った上で実施しました。

1・2年生の生徒は、学年毎に3年生への感謝の気持ちを伝えました。エピソードの振り返りや感謝のメッセージなど工夫を凝らした出し物と合唱の披露で、3年生を笑いと感動の渦に巻き込みました。

学校祭では、「自分たちで創る」を意識して、3年生を中心に生徒が主体となって取り組んできたことで、「やりがい」「充実感」「自己肯定感」の高まりを実感することができました。三送会においても、学校祭での成果を継承し、特に次年度の学校を牽引する2年生は、リーダー会が中心となって3か月も前から企画・練習等の準備を進めてきました。「各担当でみんなが進んで取り組み、学年全員で創り上げた会になったと思う」という生徒の感想からも、一回り大きくなった生徒の姿が垣間見られました。

「自ら考えて行動できる生徒」を目指して取り組んできた令和3年度でしたが、時間をかけて生徒が中心となって準備する場を設定することで、生徒同士の高め合いの場面が随所に見られるようになりました。「合唱」における響き合いの完成度もふくめて、千代田中学校の伝統を大切に引き継いでいく機会となりました。今後も行事はもとより学校生活全般において、「千代田のなかま5か条」を常に意識し、生徒の持ち味が活かせるようサポートしていきたいと考えます。



バトンを受け継ぎ、「千代田丸」いざ出発！

第75回卒業式 3月3日(木)

3月3日は、冬型の気圧配置の合間を縫って、午前中は春の兆しを感じる陽気でした。天候も味方につき、卒業生74名の門出を祝っているかのようなようでした。今年度の卒業式も、来賓をお招きできませんでしたが、在校生として2年生全員が参加して、厳粛な雰囲気の中で実施できたことに感謝する次第です。

卒業生答辞を聞いた2年生からは、「次は自分達が学校を引っ張っていく立場になることを自覚して、これからの生活を送っていかないといけない」という感想をもつなど、受け継ぐ気持ちを一層確かなものにする決意が感じられました。その意味で卒業生の答辞は、「千代田のなかまを大切にする生徒」を、上級生としての後ろ姿で後輩に伝えるすばらしい「言霊（ことだま）」でした。在校生が、卒業生からバトンを引き継ぎ、「自分たち一人一人が千代田中学校を牽引していくのだ」という気概をもって学校生活を送れるよう、教職員一同励ましていきたいと考えます。



夢や希望の実現に向けて、さらに一步前へ！！

現2年生が受検する入試から制度が大きく変わります。公立高校入試が1か月程度早まることを受けて、3月15日(火)に2年生と保護者を対象として進路説明会を実施しました。県教育委員会から示されたパンフレットを基に、入試日程や新しく導入される特色選抜の実施内容、学力検査で採用されるマークシート形式等の変更点について、そして3年生になってからの評価・評定のあり方等についても説明しました。制度変更について十分に理解した上で、「夢や希望をもち、粘り強く努力する生徒」を念頭に、切磋琢磨して自分のもてる力を一層高めていけるような千代田中生を育てていきたいと考えます。